

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

(令和7年12月5日発行)

1. 定点把握対象疾患の発生動向

※栗原支所管内を含む大崎保健所管内
上段は圏域全体で一週間に診断した患者数、下段は一つの定点(医療機関)あたり一週間に診断した患者数。*は急性呼吸器感染症(ARI)に含まれる感染症。

疾 病		疫学週			
		45週 11月3日～11月9日	46週 11月10日～11月16日	47週 11月17日～11月23日	48週 11月24日～11月30日
イ感新～急 ン染型A性 フ症コR呼 ルロI吸 エナ～器 ンザ ウイルス	急性呼吸器感染症(ARI)	838 167.60	935 187.00	1068 213.60	758 151.60
	インフルエンザ *	192 38.40	310 62.00	510 102.00	308 61.60
	新型コロナウイルス感染症 *	34 6.80	17 3.40	18 3.60	9 1.80
小児科定点	RSウイルス感染症 *	1 0.33	1 0.33	1 0.33	
	咽頭結膜熱 *			1 0.33	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 *	8 2.67	9 3.00	3 1.00	6 2.00
	感染性胃腸炎				
	水痘	5 1.67		1 0.33	1 0.33
	手足口病				
	伝染性紅斑	1 0.33	1 0.33		1 0.33
	突発性発しん	3 1.00	2 0.67	2 0.67	1 0.33
	ヘルパンギーナ *				
眼科定点	流行性耳下腺炎			1 0.33	1 0.33
	急性出血性結膜炎				
	流行性角結膜炎			2 2.00	
基幹定点	感染性胃腸炎(口タウイルス)				
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)				
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)				
	マイコプラズマ肺炎	5 5.00	5 5.00	5 5.00	
	無菌性髄膜炎				
拡張疾患	マイコプラズマ肺炎(小児科)	9	10	9	2
	川崎病	2	1		1
	不明発疹症		1		

大崎保健所管内定点数: 内科定点2施設 小児科定点3施設 眼科定点1施設 基幹定点1施設

2. 集団発生状況

※栗原支所の過去2週間における対応状況

施設区分	保育所	高齢者・障害者施設	医療機関
対応状況	○	○	—
備考	インフルエンザ	インフルエンザ	

3. 栗原支所より

◎:複数対応中、○:対応施設あり、-:対応無し

【全数報告疾病】

※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

- なし

【定点把握対象疾患の発生動向】

※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

- インフルエンザの患者報告数が高い水準で推移しています。
- 今後の動向に注意し、引き続き、咳エチケット・換気・手洗いなどの基本的な感染対策を心がけましょう。

【集団発生状況】

※栗原支所管内

- 新たに高齢者施設でインフルエンザの集団発生がありました。

【お知らせ】

- 12月1日世界エイズデーを過ぎましたが、保健所ではHIVをはじめとした性感染症の検査を原則無料で毎月実施しています。また、郵送検査も12/1から再開しています。
- 感染に不安のある方は、検査を御検討ください。

- 保健所では管内施設等を対象に感染症予防啓発物品(手洗いチェック、CO2センサー)の貸出を行っています。
- 施設の感染対策として活用ください。

感染症予防啓発物品
の貸出はこちら



【感染症コラム～HIVの新しい概念～】

- エイズは、ヒト免疫不全ウイルス(HIV)に感染することによって免疫が低下し、様々な病気を引き起こす病気です。HIVは主に性的接触や血液を介して感染します。感染の有無は血液検査によって分かります。
- HIVやエイズという言葉を聞くと死を連想する方もいるかもしれません。現在は医療が大きく進歩し、HIV/エイズは「コントロールできる病気」へと変わっています。
- 今年の世界エイズデーのテーマは、「U=U(Undetectable=Untransmittable)」。日本語では「検出されないと訳されます。
- これは「HIV陽性の人が治療を続け、血液中のウイルス量が検出できないほどに6か月間以上抑えられた状態であれば、性行為などを通じて他の人に感染させることはない」という意味です。つまり、HIVに感染していても、治療をきちんと受けていれば、健全な人と同じように仕事や生活を続けることができます。
- HIVの新しい概念を理解していても、検査を受けて陽性と結果が出ることが怖いと思う方もいます。匿名で相談が可能ですから、不安のある方は下記まで御相談ください。



大崎保健所 栗原支所 疾病対策班

0228-22-2117 0228-22-7594